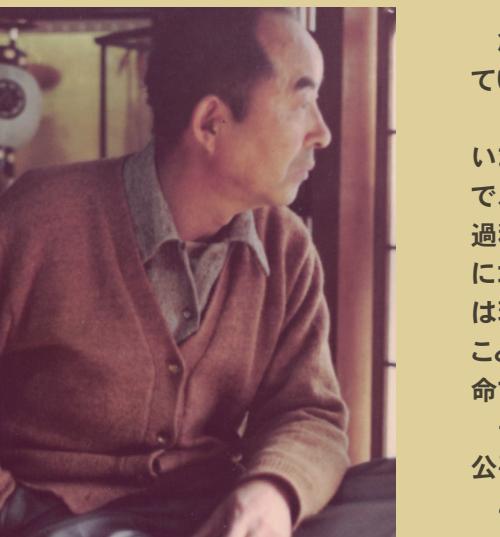


HISTORY

加山興業60年の歴史は 環境保全の歴史



創業者 加山勇雄

社長任期 / 1961年11月1日～1978年4月10日

創業者・加山勇雄は誕生した島根県を離れ愛知県警の警察官として活躍していました。温厚で情に厚く、お人好し。
当時の日本は戦後特需の波に乗り、高度経済成長期へと突入しようとしていました。国民生活は潤い、産業界は活気づいていました。しかし、その一方で、廃棄物処理に関する法律は整っておらず、作ることに重きが置かれ、作る過程で排出される廃棄物や、不要となり廃棄されるモノへの関心は薄く、各地にゴミの山が築かれていました。実情を自らの目で見て知ることになった勇雄は環境への影響と未来を危惧するようになりました。廃棄物を適切に処理することが真に豊かな未来へ通じる道であり、よりよい環境を残す事が日本人の使命であると考えました。

そんな「想い」から加山組(加山興業の前身)が誕生しました。個々を敬い、公平に活躍の機会を設け、評価される職場環境に努めました。

これが、加山興業の歴史のはじまりです。

- ▶ 設立
- ▶ 焼却炉竣工

1961 1983

- ▶ 破碎・選別
プラント竣工

1990

- ▶ 解体新規事業開始

2004

- ▶ RPFプラント竣工

2006

- ▶ 壁画プロジェクト開始

2012

- ▶ ミツバチプロジェクト開始

2014

- ▶ 荷受け施設竣工

2016

- ▶ 光学選別機導入

2017

- ▶ 壁面プロジェクト

2019

- ▶ 「一反パートナー」による米作り支援

2020

- ▶ みどりの図書

2020

- ▶ 市田プラント竣工

2020

- ▶ 環境基本法 環境基本計画
第5次(2018年～現在)

2020

- ▶ ハイオトイレ導入

2020

- ▶ 銅ナゲット製造ライン

2020

- ▶ 新社屋竣工

2020

- ▶ バイオトイレ導入

2020

- ▶ 銅ナゲット製造ライン

2020

- ▶ ハイオトイレ導入

2020

- ▶ バイオトイレ導入

2020

- ▶ ハイオトイレ導入

2